

平成22年11月5日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 ウッドワン

コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 今田 裕志

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日

平成22年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	30,936	2.2	1,034	281.6	927		461	
22年3月期第2四半期	31,625	21.3	271	76.9	295		3,626	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	9.89	
22年3月期第2四半期	77.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	96,555	23,690	24.0	496.11
22年3月期	101,730	27,322	26.0	566.05

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 23,154百万円 22年3月期 26,420百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期		3.75		3.75	7.50
23年3月期		3.75			
23年3月期(予想)				3.75	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	4.8	2,900	46.3	1,600	201.4	200	96.3	4.29

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、[添付資料]3ページ「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 社（社名 ）、除外 社（社名 ）
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更 有
以外の変更 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年3月期2Q	49,209,846株	22年3月期	49,209,846株
期末自己株式数	23年3月期2Q	2,537,892株	22年3月期	2,534,501株
期中平均株式数(四半期累計)	23年3月期2Q	46,673,989株	22年3月期2Q	46,679,353株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. (参考) 四半期個別財務諸表等	9
(1) 四半期貸借対照表	9
(2) 四半期損益計算書	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緊急経済対策などにより景気回復の傾向が見られたものの、依然として雇用環境の低迷や個人消費マインドの停滞などによりデフレが進行し、更に円高も進行して、経営環境は不透明な状況にありました。

住宅業界におきましては、住宅版エコポイント制度・補助金の利用促進、住宅ローン金利の引き下げ等が影響して持家・分譲戸建が増加傾向にありますが、上半期(暦年)の新設住宅着工総戸数は、前年同期を下回り、当第2四半期連結会計期間も引き続き厳しい事業環境で推移しました。

当社グループは、住宅建材設備事業として、森林認証を取得したニュージーランドの森林資源を主に活用したジュピーノシリーズを中心に木質感溢れる内装建材で建材からキッチンまで室内のトータルコーディネートを目指し、新しい顧客・新しい市場・新しい商品開拓と需要創造を推進しております。

当第2四半期連結会計期間は、第1四半期連結会計期間に引き続き、地域工務店を対象とした国の様々な住宅施策の周知徹底と当社グループが提案する高性能住宅及び商品展開のための「戦略セミナーと新商品発表会」の開催や、「転ばぬ先のリフォーム」のすすめのパンフレットを作成しリフォーム需要の喚起を行いました。また、地域工務店の事業資金確保のためスキームを構築する等、長期優良住宅認定取得サポート業務を拡大し、国が進めている「長期優良住宅」の普及促進を実施しております。

木質建材では、第1四半期連結会計期間に発売した「シンプルセレクション」に新柄・新デザインの投入、「ジュピーノウづくりシリーズ」の品揃えの拡大、好評の無垢ルーバークローゼットに加え全収納商品へ「無垢ルーバー」シリーズを拡大し、拡販に努めました。また、耐傷性を高めたニュージーランドの認証基材を使用した環境配慮型の新型フローリングを9月に発売しました。

住宅設備機器は、木質建材とトータルコーディネートできる「スイージー」の無垢扉に新デザインを投入し、リフォーム向けにも積極的に取り組みました。

当社グループは、厳しい経済情勢及び業界動向の中このような施策を行い、拡販、コスト削減に努めました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、30,936百万円(前年同四半期比2.2%減)、営業利益1,034百万円(前年同四半期比281.6%増)、経常利益927百万円(前年同四半期は経常損失295百万円)、四半期純損失461百万円(前年同四半期は四半期純利益3,626百万円)となりました。なお、主に急激な為替変動の影響により発生した外貨建借入金の為替評価損518百万円と未決済為替予約評価損305百万円を特別損失に計上しました。

また、当第2四半期連結会計期間の連結売上高は、16,217百万円(前年同四半期比1.4%減)、営業利益776百万円(前年同四半期比%11.2増)、経常利益562百万円(前年同四半期比29.1%増)、四半期純利益153百万円(前年同四半期比84.7%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度に比べ、資産が5,174百万円減少、負債が1,543百万円減少、純資産が3,631百万円減少しました。主な内訳科目として、資産の減少は、現金及び預金の1,773百万円減少、有形固定資産の3,581百万円減少によるものです。負債の減少は、社債償還による3,000百万円減少、借入金の635百万円減少と為替予約の1,713百万円増加によるものです。純資産の減少は、主に利益剰余金の636百万円減少、繰延ヘッジ損益の1,138百万円減少、為替換算調整勘定の1,346百万円減少によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年11月2日付「業績予想の修正に関するお知らせ」において開示しておりますのでご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっています。

経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっています。

法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加算減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

その他影響額の僅少なものにつき一部簡便的な手続きを用いています。

未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しています。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しています。

これにより、営業利益、経常利益の損益に与える影響はなく、税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は軽微であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」の適用

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失」の科目を表示しています。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,795	6,569
受取手形及び売掛金	9,115	8,153
商品及び製品	4,228	5,306
仕掛品	2,559	2,575
原材料及び貯蔵品	7,976	7,485
その他	1,838	1,421
貸倒引当金	71	64
流動資産合計	30,441	31,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,221	10,883
機械装置及び運搬具(純額)	9,440	10,660
土地	11,247	11,430
立木(純額)	19,193	20,631
その他(純額)	2,244	2,323
有形固定資産合計	52,347	55,929
無形固定資産	655	677
投資その他の資産	13,110	13,676
固定資産合計	66,113	70,283
資産合計	96,555	101,730
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,559	5,036
短期借入金	34,077	24,118
1年内償還予定の社債	-	3,000
未払法人税等	90	104
引当金	247	251
その他	7,556	5,917
流動負債合計	47,532	38,427
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	14,092	24,687
引当金	1,033	918
その他	1,206	1,373
固定負債合計	25,332	35,980
負債合計	72,864	74,407

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,816	7,816
利益剰余金	14,020	14,657
自己株式	2,129	2,128
株主資本合計	27,032	27,670
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	231	86
繰延ヘッジ損益	2,784	1,646
為替換算調整勘定	862	483
評価・換算差額等合計	3,878	1,249
新株予約権	206	196
少数株主持分	329	704
純資産合計	23,690	27,322
負債純資産合計	96,555	101,730

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	31,625	30,936
売上原価	21,698	20,775
売上総利益	9,926	10,160
販売費及び一般管理費	9,655	9,125
営業利益	271	1,034
営業外収益		
受取利息	26	11
受取配当金	18	20
為替差益	264	544
その他	248	292
営業外収益合計	558	868
営業外費用		
支払利息	543	509
売上割引	225	212
シンジケートローン手数料	227	116
その他	129	136
営業外費用合計	1,125	975
経常利益又は経常損失()	295	927
特別利益		
固定資産売却益	2	75
為替差益	5,346	-
その他	23	2
特別利益合計	5,372	77
特別損失		
固定資産売却損	17	1
固定資産除却損	6	5
為替差損	-	823
投資有価証券評価損	-	4
リコール損失	10	-
その他	4	44
特別損失合計	40	879
税金等調整前四半期純利益	5,036	126
法人税、住民税及び事業税	18	97
法人税等調整額	1,595	526
法人税等合計	1,613	623
少数株主損益調整前四半期純損失()	-	497
少数株主損失()	203	36
四半期純利益又は四半期純損失()	3,626	461

(第2四半期連結会計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	16,452	16,217
売上原価	10,968	10,855
売上総利益	5,483	5,361
販売費及び一般管理費	4,785	4,584
営業利益	698	776
営業外収益		
受取利息	20	4
受取配当金	0	0
為替差益	261	204
その他	128	106
営業外収益合計	409	315
営業外費用		
支払利息	279	253
売上割引	118	106
シンジケートローン手数料	227	116
その他	48	52
営業外費用合計	672	530
経常利益	435	562
特別利益		
固定資産売却益	0	73
為替差益	1,313	-
その他	0	1
特別利益合計	1,314	74
特別損失		
固定資産売却損	6	0
固定資産除却損	3	3
為替差損	-	94
投資有価証券評価損	-	2
リコール損失	4	-
その他	0	5
特別損失合計	15	105
税金等調整前四半期純利益	1,734	531
法人税、住民税及び事業税	10	19
法人税等調整額	399	325
法人税等合計	409	345
少数株主損益調整前四半期純利益	-	186
少数株主利益	322	32
四半期純利益	1,002	153

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. (参考) 四半期個別財務諸表等

(1) (参考) 四半期貸借対照表

(単位: 百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,609	3,098
受取手形及び売掛金	6,546	6,011
商品及び製品	3,557	3,722
仕掛品	1,381	1,303
原材料及び貯蔵品	4,896	4,157
その他	7,173	7,733
貸倒引当金	19	19
流動資産合計	25,145	26,007
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,892	5,069
機械装置及び運搬具(純額)	1,716	1,908
その他(純額)	9,594	9,700
有形固定資産合計	16,202	16,677
無形固定資産	550	554
投資その他の資産	32,597	32,786
固定資産合計	49,350	50,018
資産合計	74,495	76,025
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,459	4,140
短期借入金	22,569	12,333
1年内償還予定の社債	-	3,000
未払法人税等	59	91
引当金	213	217
為替予約	1,535	996
その他	2,280	2,319
流動負債合計	31,117	23,099
固定負債		
社債	9,000	9,000
長期借入金	3,856	12,479
引当金	1,022	907
その他	816	942
固定負債合計	14,694	23,329
負債合計	45,812	46,429

(単位：百万円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	15,999	16,645
自己株式	2,129	2,128
株主資本合計	29,010	29,657
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	258	121
繰延ヘッジ損益	274	135
評価・換算差額等合計	533	257
新株予約権	206	196
純資産合計	28,683	29,596
負債純資産合計	74,495	76,025

(2) (参考) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	27,104	26,208
売上原価	19,453	19,079
売上総利益	7,650	7,128
販売費及び一般管理費	7,506	6,998
営業利益	143	130
営業外収益		
受取利息	34	52
受取配当金	16	17
仕入割引	24	24
受取賃貸料	89	75
その他	123	94
営業外収益合計	287	265
営業外費用		
支払利息	181	234
社債利息	164	140
売上割引	212	206
その他	243	161
営業外費用合計	801	742
経常損失()	370	346
特別利益		
固定資産売却益	1	62
その他	0	0
特別利益合計	1	62
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	6	5
為替差損	1,034	305
その他	2	38
特別損失合計	1,050	349
税引前四半期純損失()	1,420	633
法人税、住民税及び事業税	33	36
法人税等調整額	547	199
法人税等合計	513	163
四半期純損失()	906	470